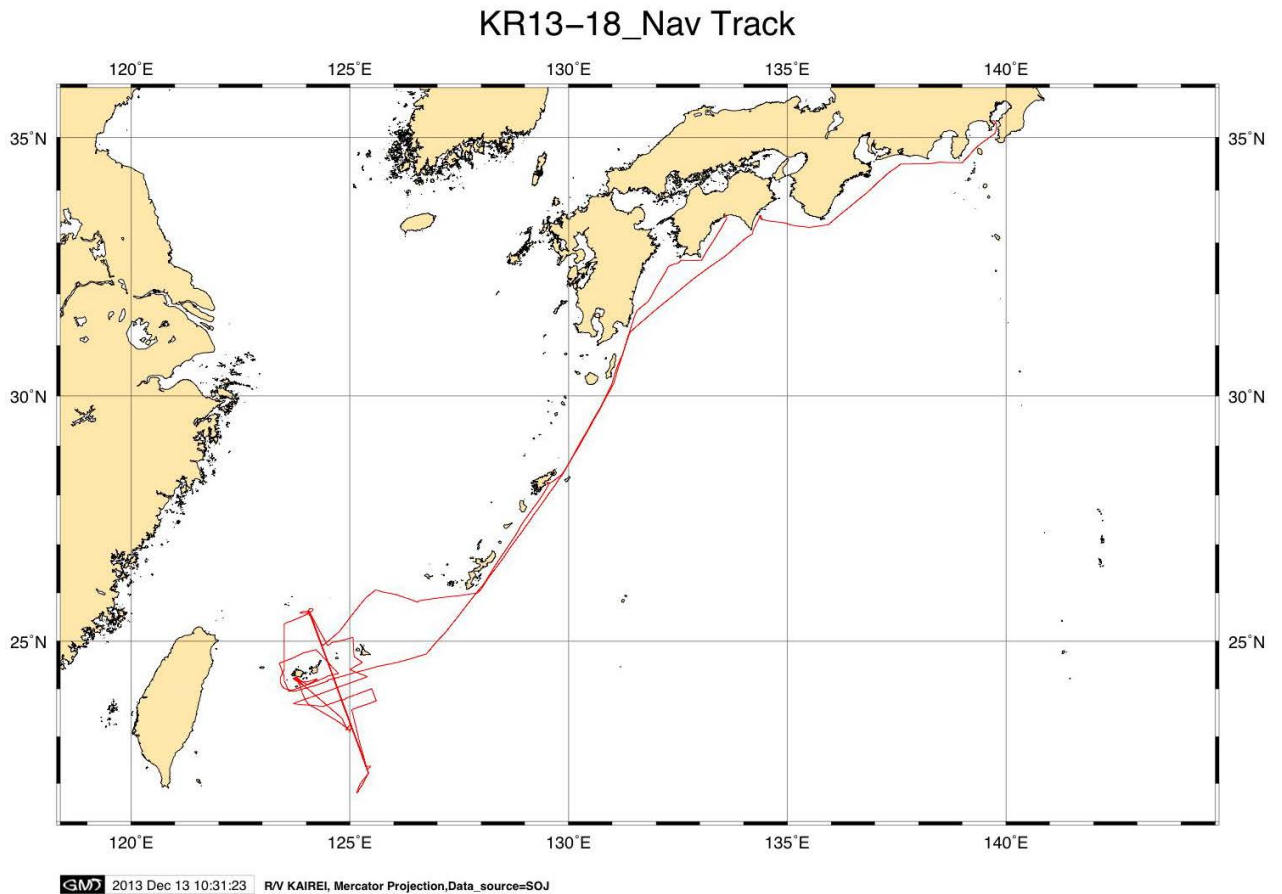


## クルーズサマリー

### 1. 航海情報

- (1) 航海番号、船舶名：KR13-18, 「かいいい」
- (2) 航海名称：平成 25 年度 所内利用 受託研究「南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト」
- (3) 研究課題名：受託研究「南海トラフ、南西諸島ならびに首都圏沖合海域で発生する地震・津波の調査観測」
- (4) 航海期間、寄港地：  
2013/11/17-12/14, 高知 - 横須賀
- (5) 調査海域名：南西諸島海域
- (6) 調査マップ：



## 2. 研究参加者

- (1) 首席研究者 [所属機関名]: 海宝由佳 [JAMSTEC]
- (2) 課題代表研究者 [所属機関]: 金田 義行 [JAMSTEC]
- (3) 研究参加者リスト:

小平 秀一 [JAMSTEC]  
尾鼻 浩一郎 [JAMSTEC]  
仲西 理子 [JAMSTEC]  
高橋 成実 [JAMSTEC]  
三浦 誠一 [JAMSTEC]  
藤江 剛 [JAMSTEC]  
高橋 努 [JAMSTEC]  
山本 揚二郎 [JAMSTEC]  
佐藤 壮 [JAMSTEC]  
山下 幹也 [JAMSTEC]  
中村 恭之 [JAMSTEC]  
野 徹雄 [JAMSTEC]  
海宝 由佳 [JAMSTEC]  
石原 靖 [JAMSTEC]  
利根川 貴志 [JAMSTEC]  
杉岡 裕子 [JAMSTEC]  
伊藤 亜姫 [JAMSTEC]

## 3. 実施内容 :

- (1) 目的 :

本航海は、受託研究「南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト」の「巨大地震発生域調査観測研究」調査に関する観測であり、九州から南西諸島海域にかけての沈み込み帯の構造と地震発生の構造的な背景の解明が目的である。

南海トラフに隣接する南西諸島海溝周辺の領域は、過去に地震・津波が繰り返し発生した履歴が確認されているが、地震の発生する場所、大きさ、繰り返し間隔が十分に分かっておらず、同領域の調査観測が重要である。

(2) 調査項目：

(i) 海底地震計(OBS)の設置回収

60 台の構造探査用 OBS (55 台の東京測振型 OBS と5台の超深海型 OBS) を設置回収した。また、長期観測用に OBS30 台 (東京測振型) を設置した。

(ii) 屈折法地震探査(エアガンと OBS を用いた観測作業)

OBS を設置した YA05 測線上にて、200m 間隔でのエアガン発振を行った。

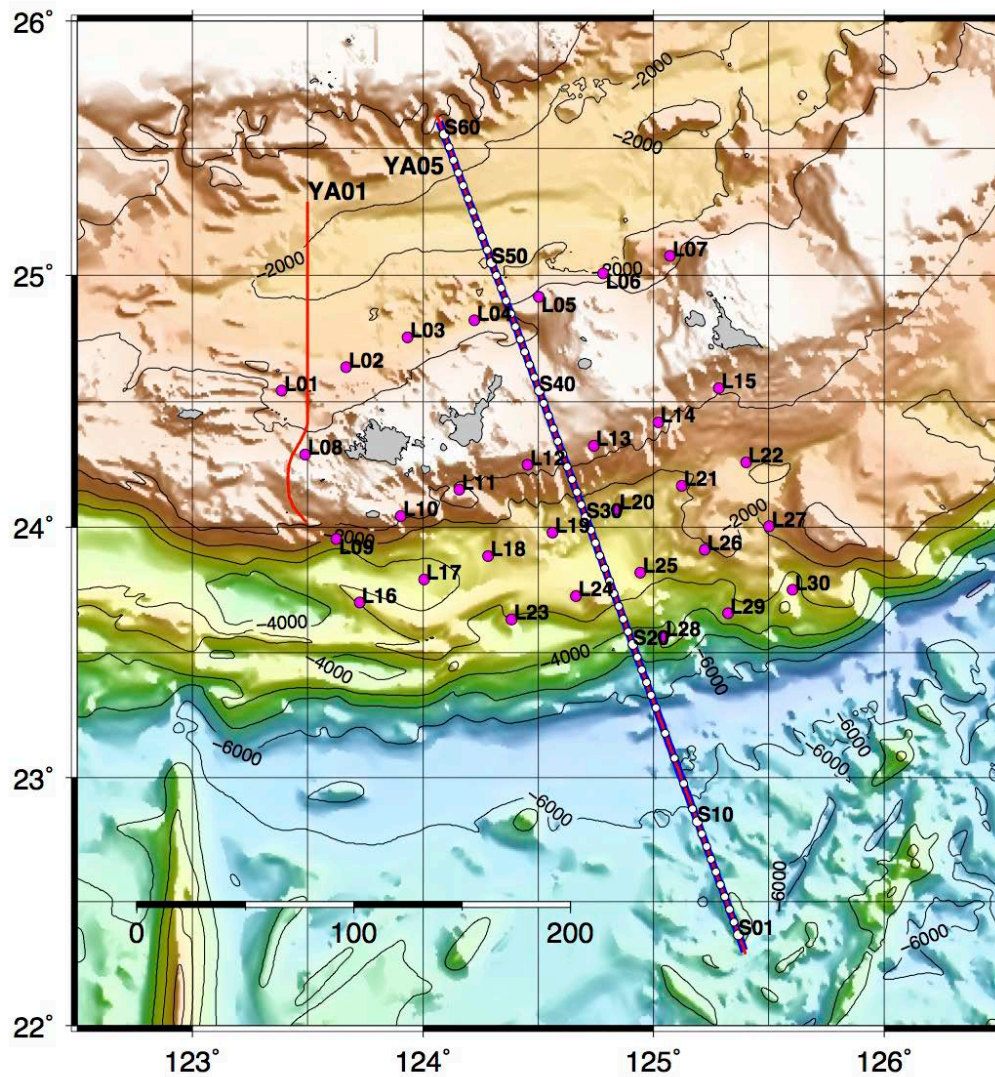
(iii) 反射法地震探査(マルチチャンネルストリーマーとエアガンを用いた観測作業)

YA05 測線及び YA01 測線上で、50m 間隔発振での MCS 調査を行った。

(3) 調査日程：

日付		記事
2013/11/17～11/19	日-火	高知港出港、回航
2013/11/20～11/23	水-土	構造探査用 OB 設置／自然地震用 OBS 設置
2013/11/24～11/25	日-月	YA05 屈折法探査
2013/11/26	火	荒天避泊(西表島南方)／調査海域へ回航
2013/11/27	水	自然地震用 OBS 設置／荒天避泊
2013/11/28～11/29	木-金	荒天避泊(西表島南方)
2013/11/30～12/1	土-日	調査海域へ回航／YA05 屈折法探査／OBS 回収
2013/12/2～12/4	月-水	OBS 回収
2013/12/5～12/8	木-日	YA05／YA01 屈折法探査
2013/12/9	月	回航
2013/12/10	火	荒天避泊(奄美大島東方)
2013/12/11	水	回航
2013/12/12	木	回航／荒天避泊(室戸岬東方)
2013/12/13	金	回航
2013/12/14	土	横須賀港着

(4) 測線図



白丸は構造探査用 OBS、マゼンダ丸は自然地震用 LOBS、赤線は MCS 反射法測線 YA01 と YA05、YA05 の赤線と重なる青太線は屈折法エアガン測線を示す。